



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 新日本理化学株式会社  
コード番号 4406 URL <http://www.ni-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

(氏名) 藤本 万太郎  
(氏名) 石野 淳

TEL 06-6202-6598

配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	14,112	△6.9	△211	—	△143	—	△201	—
27年3月期第2四半期	15,159	2.0	△138	—	3	△98.8	△77	—

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 △418百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 349百万円 (△53.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△5.39	—
27年3月期第2四半期	△2.08	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	35,455	14,685	39.2	372.93
27年3月期	36,024	15,114	39.8	384.51

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 13,905百万円 27年3月期 14,337百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,800	△4.9	50	△56.1	110	△61.5	△30	—	△0.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	38,008,906 株	27年3月期	38,008,906 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	720,681 株	27年3月期	720,379 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	37,288,397 株	27年3月期2Q	37,288,931 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大手企業を中心に企業業績や雇用・所得環境の改善がみられたものの、個人消費や設備投資が落ち込んだほか、輸出も伸び悩むなど、景気回復の足取りが鈍い状況が続きました。世界経済においても、中国の景気減速が世界的な株安や同国向けの輸出不振をもたらすなど、不透明感が漂うなかで推移しました。

このような環境のなか、当社グループでは、事業部制の利点を活かした開発・提案型営業を推進し、また、グループ全体で経費削減に取り組み、収益構造の改善を図りました。

しかしながら、当社グループの主要販売先である住宅関連業界において、未だ輸入品の流入が続いているほか、中国や新興国の成長鈍化により、輸出も不振が続くなど、非常に厳しい事業環境を強いられました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、141億1千2百万円（前年同四半期比6.9%減）となり、損益面では、営業損失2億1千1百万円（前年同四半期は1億3千8百万円の営業損失）、経常損失1億4千3百万円（前年同四半期は3百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失2億1百万円（前年同四半期は7千7百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）を計上する結果となりました。

事業別セグメントの状況は次のとおりであります。

#### 化学製品セグメント

オレオケミカル製品は、合成樹脂向け脂肪酸の需要低迷により油脂製品の販売が落ち込みました。一方、アルコール製品では界面活性剤の販売が伸び悩んだものの、原材料価格上昇に伴う販売価格の改定により売上を確保したため、オレオケミカル全体の売上高は前年並みとなりました。

可塑剤は、国内需要の低迷に加え、中国、新興国などの海外経済減速の影響もあり、住宅資材関連向けの販売は伸び悩み、また原油安の影響から製品価格は下落し、売上高は前年を下回りました。

機能性化学品は、自動車向けの油剤が順調に推移したほか、新規開発品である医薬中間体の生産販売を開始したことにより事業化に進展がみられました。

樹脂原料製品は、新製品の販売が伸びたほか、一部の製品で競合する輸入品からのシェア奪回に成功するなどしましたが、電機関連の需要低迷が続いたため、国内販売の売上高は前年並みにとどまりました。また、輸出においても、中国経済の減速や製品価格の下落により、売上高は前年を下回りました。

樹脂添加剤は、国内販売では顧客プラントの大型定期修理の影響を受け低調となりましたが、輸出においては、新製品の販売が増加したため、全体としては、前年を上回る結果となりました。

以上の結果、化学製品セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は128億8百万円（前年同四半期比6.7%減）、セグメント損失は2億1千3百万円（前年同四半期は1億4千5百万円のセグメント損失）となりました。

#### その他セグメント

その他セグメントにおきましては、業務用・車両用洗剤の分野で営業強化に努めた結果、売上を伸ばしました。一方商社部門では、主要販売先である住宅関連業界の市況低迷に加え、トイレタリー関連製品も伸び悩み、低調な売上となりました。

以上の結果、その他セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は13億3百万円（前年同四半期比9.2%減）、セグメント利益は0百万円（前年同四半期比90.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前期末比1.6%減、金額で5億6千9百万円減少し354億5千5百万円となりました。

流動資産につきましては、受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金、棚卸資産が増加したことなどにより前期末比0.1%増、金額で1千万円増加の170億3千万円となりました。固定資産につきましては、投資有価証券の時価が下落したことなどにより前期末比3.1%減、金額で5億7千9百万円減少の184億2千4百万円となりました。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金が増加したものの、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金が増加したことなどにより前期末比12.1%減、金額で13億7千7百万円減少の100億1千5百万円となりました。固定負債につきましては、長期借入金が増加したことなどにより前期末比13.0%増、金額で12億3千7百万円増加の107億5千4百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことやその他有価証券評価差額金が減少したことなどにより前期末比2.8%減、金額で4億2千9百万円減少の146億8千5百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は39.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、4億5千1百万円増加し、19億8千3百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は9億6千8百万円増加（前年同四半期は4億3千7百万円減少）しました。これは主に、減価償却費4億4千1百万円、売上債権の減少7億2千5百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金は3億4千2百万円減少（前年同四半期は2億2千2百万円減少）しました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2億5千万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は1億7千8百万円減少（前年同四半期は3億9千8百万円増加）しました。これは主に、借入金の減少1億3千万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想に関する事項につきましては、本日（平成27年11月13日）公表の「第2四半期業績予想と実績との差異および業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等  
を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資  
本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしま  
した。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取  
得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更い  
たします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っており  
ます。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財  
務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社  
株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、  
連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関  
連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更  
しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事  
業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から  
将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,767	2,212
受取手形及び売掛金	10,179	9,453
商品及び製品	2,261	2,482
仕掛品	1,731	1,184
原材料及び貯蔵品	792	1,346
その他	290	353
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	17,020	17,030
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,454	3,454
その他(純額)	5,688	5,411
有形固定資産合計	9,142	8,865
無形固定資産		
	43	35
投資その他の資産		
投資有価証券	9,254	8,926
その他	565	604
貸倒引当金	△1	△7
投資その他の資産合計	9,818	9,522
固定資産合計	19,004	18,424
資産合計	36,024	35,455

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,367	4,763
短期借入金	3,331	2,145
1年内償還予定の社債	37	37
1年内返済予定の長期借入金	2,310	1,992
未払法人税等	34	54
賞与引当金	193	185
その他	1,118	837
流動負債合計	11,393	10,015
固定負債		
社債	239	220
長期借入金	5,455	6,828
役員退職慰労引当金	41	44
退職給付に係る負債	1,841	1,808
その他	1,939	1,852
固定負債合計	9,516	10,754
負債合計	20,909	20,769
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,660	5,660
資本剰余金	4,246	4,246
利益剰余金	2,338	2,137
自己株式	△170	△170
株主資本合計	12,075	11,874
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,313	2,136
為替換算調整勘定	△29	△81
退職給付に係る調整累計額	△21	△22
その他の包括利益累計額合計	2,262	2,031
非支配株主持分	777	779
純資産合計	15,114	14,685
負債純資産合計	36,024	35,455



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	15,159	14,112
売上原価	13,168	12,168
売上総利益	1,990	1,943
販売費及び一般管理費	2,129	2,155
営業損失(△)	△138	△211
営業外収益		
受取配当金	69	75
負ののれん償却額	55	-
持分法による投資利益	53	24
その他	34	43
営業外収益合計	212	143
営業外費用		
支払利息	59	52
その他	10	22
営業外費用合計	70	75
経常利益又は経常損失(△)	3	△143
特別利益		
固定資産売却益	-	0
特別利益合計	-	0
特別損失		
固定資産除却損	8	5
投資有価証券評価損	6	-
特別損失合計	14	5
税金等調整前四半期純損失(△)	△11	△149
法人税、住民税及び事業税	31	38
法人税等調整額	9	0
法人税等合計	41	38
四半期純損失(△)	△53	△188
非支配株主に帰属する四半期純利益	24	13
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△77	△201

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純損失(△)	△53	△188
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	450	△176
為替換算調整勘定	5	△5
退職給付に係る調整額	14	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	△67	△47
その他の包括利益合計	402	△230
四半期包括利益	349	△418
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	325	△431
非支配株主に係る四半期包括利益	24	13

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△11	△149
減価償却費	468	441
負ののれん償却額	△55	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	-	6
賞与引当金の増減額(△は減少)	14	△8
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△16	3
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	-	△41
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△50	△34
受取利息及び受取配当金	△73	△79
支払利息	59	52
持分法による投資損益(△は益)	△53	△24
固定資産除却損	8	5
投資有価証券評価損益(△は益)	6	-
売上債権の増減額(△は増加)	317	725
たな卸資産の増減額(△は増加)	△313	△229
仕入債務の増減額(△は減少)	△589	396
その他	△111	△150
小計	△399	914
利息及び配当金の受取額	90	121
利息の支払額	△59	△53
法人税等の支払額	△68	△14
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△437</b>	<b>968</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	5	2
有形固定資産の取得による支出	△282	△250
投資有価証券の取得による支出	△20	△0
投資有価証券の売却による収入	21	-
関係会社株式の取得による支出	△38	-
その他	92	△92
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△222</b>	<b>△342</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	621	△1,186
長期借入れによる収入	700	2,600
長期借入金の返済による支出	△866	△1,544
社債の償還による支出	△18	△18
配当金の支払額	△0	△0
非支配株主への配当金の支払額	△13	△11
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△24	△18
その他	△0	△0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>398</b>	<b>△178</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	3
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>△259</b>	<b>451</b>
現金及び現金同等物の期首残高	1,674	1,532
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,415	1,983

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	化学製品				
売上高					
外部顧客への売上高	13,723	1,436	15,159	—	15,159
セグメント間の内部 売上高又は振替高	941	137	1,078	△1,078	—
計	14,664	1,573	16,237	△1,078	15,159
セグメント利益又は 損失(△)	△145	7	△138	△0	△138

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務用洗剤、油剤の製造販売事業、化学製品ほかの仕入販売事業および保険代理事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	化学製品				
売上高					
外部顧客への売上高	12,808	1,303	14,112	—	14,112
セグメント間の内部 売上高又は振替高	854	117	971	△971	—
計	13,662	1,420	15,083	△971	14,112
セグメント利益又は 損失(△)	△213	0	△212	0	△211

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務用洗剤、油剤の製造販売事業、化学製品ほかの仕入販売事業および保険代理事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。